

第2次島田市総合計画策定（まちづくり課題の整理）にかかるSWOT分析

①SWOT分析について

ある組織等の内部環境を「S（強み）」、「W（弱み）」の観点から、外部環境を「O（機会：プラス要因・追い風）」、「T（脅威：マイナス要因・逆風）」の観点から整理し、組織の資源と課題を抽出・把握するための分析手法の1つです。通常、次のような表を用いて分析を行い、事業・施策や政策の選択や集中といった「戦略」を検討・立案するために活用します。

	外部環境	機会（プラス要因・追い風） （Opportunity）	脅威（マイナス要因・逆風） （Threat）
内部環境			
市の強み （Strength）		【成長戦略】 強みによって機会をさらに活かす方向	【回避戦略】 強みを発揮して脅威を回避・克服する方向
市の弱み （Weakness）		【改善戦略】 機会を逃さないように弱みを改善する方向	【改革戦略】 最悪の事態を招かないように弱みを克服し改革する方向

1) 外部環境分析

外部環境（機会、脅威）の整理にあたっては、現在及び今後の社会情勢、経済情勢等に係る、次のような要因をふまえます。

社会経済環境

- | | |
|----------|----------|
| 1) 経済的要因 | 4) 文化的要因 |
| 2) 社会的要因 | 5) 制度的要因 |
| 3) 技術的要因 | |

2) 内部環境分析

内部環境（強み、弱み）の整理にあたっては、次の4つの資源に着目して、該当する要素がないか検討します。

（行政）	1) 人的資源	3) 財務的資源
	2) 物的資源	4) 技術・情動的資源
（住民、企業など）	1) 人的資源	3) 財務的資源
	2) 物的資源	4) 技術・情動的資源

また、各要素については、基礎資料（市の現状にかかる統計データ）、市民意識調査結果等を基本としています。

②SWOT分析

外部環境（機会、脅威）と内部環境（強み、弱み）の組み合わせから成る4つの領域【成長戦略】、【改善戦略】、【回避戦略】、【改革戦略】ごとに、戦略（解決すべき課題点や課題解決のためのとりくみの方向性）を示します。

□ SWOT分析によるまちづくり課題や課題解決の方向性

		島田市をとりまく外部環境（時代潮流の整理）	
		プラス要因	マイナス要因
		<ul style="list-style-type: none"> ■静岡県特区指定（内陸のフロンティアを拓く取組）や地方創生（国政策）の動き ■地方分権と行政改革の推進 ■安全・安心意識の高まり ■教育や子育てに対する関心の高まり ■地域の歴史、文化の再認識 ■住民参画・協働意識の高まり ■高度情報化の進展 	<ul style="list-style-type: none"> □少子高齢化・人口減少社会の進行 □価値観の多様化 □環境問題の進行 □地域経済をとりまく環境の変化 □社会資本の老朽化
島田市の内部環境（基礎資料・市民意識調査）	強み（特徴）	<p>【成長戦略】 （強みによって機会をさらに活かす方向）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■●「島田市緑茶化計画」の推進（島田市特産物の地域ブランドとしてのブラッシュアップ・PRや6次産業化への展開） ■●広域的な交通拠点の立地をいかした、企業誘致の促進やより生活しやすい居住環境づくり ■●比較的高い第2次産業の集積を活かした関連企業集積の促進、産業・情報基盤の更なる整備 ■●ファミリー世代の定住を促すための教育・子育て支援策の充実化 ■●市民参加の展開による環境にやさしいまちづくりや、安全・安心なまちづくりの継続・維持 	<p>【回避戦略】 （強みで脅威を回避・克服する方向）</p> <ul style="list-style-type: none"> □●生産年齢人口の更なる吸引による都市活力の維持 □●企業立地環境の維持や企業誘致の継続等による都市活力の継続 □●「島田」固有の資源の掘り起こしとその活用 □●環境にやさしく健康なまちづくりの推進
	弱み（課題点）	<p>【改善戦略】 （機会を逃さないように弱みを改善する方向）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■○若年世代の市内定住の促進（家族形成期世代の定住促進、子育て支援策等のPR） ■○生産活動と居住、自然環境のバランスに配慮した市街地形成 ■○地域の特産物、観光資源などを活かした商業振興 ■○市民のまちづくり等への参加意欲の喚起 	<p>【改革戦略】 （最悪の事態を招かないように弱みを克服し改革する方向）</p> <ul style="list-style-type: none"> □○少子・高齢社会に応じた公共施設ストックの適切な維持・管理及び整備の推進 □○地域で働く場所や生活利便施設の整備などによる若者流出防止や地域の人口バランスの確保 □○地域住民主体による生活に身近なまちづくりの展開 □○安定的な財源確保と効率的な行政サービスの実施